

第 72 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2021.10.7

『ソリクア配合注ソロスター（2）』

サノフィ株式会社 吉田さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢先生、内科職員さん、鈴木里菜、上野香奈子、藏田桃子、吉井智子、岩橋好美、隅山穂子、井上栞里、木村亜希子

急激な血糖変動は、低血糖と関連し、心疾患アウトカムの新たなリスク因子として注目されている。今回はその問題に対し、ソリクア配合注がどのように貢献できるかについて勉強した。

【効能・効果】

インスリン療法が適応となる2型糖尿病

【用法・用量】

通常、成人には5～20ドーズを1日1回朝食前に皮下注射する。ただし、1日1回5～10ドーズから開始し、患者の状態に応じて増減するが、1日20ドーズを超えないこと。

【禁忌】

- 1, 本剤の成分または他のインスリン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2, 低血糖症状を呈している患者
- 3, 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡または前昏睡、1型糖尿病の患者
- 4, 重症感染症、手術等の緊急の場合

【副作用】

- 1, 低血糖
- 2, 急性膵炎
- 3, ショック、アナフィラキシー

【特徴】

- 1, 1日1回の投与で空腹時血糖と食後血糖を同時にコントロールし、HbA1Cを

改善することを目指した薬剤である。

2, 開始容量は5ドーズと少量であり、増量時の1ドーズずつ調整可能なので消化器症状の副作用が起こりにくい。

【考察】

日本人2型糖尿病に35.6%と多い、かくれ高血糖（空腹時血糖は目標値を達成しているものの、HbA1c7.0%未満を達成できていない状態）は、食後高血糖が目標値に達せず1部残存しているものに起因する。

糖尿病患者の血糖の変動は心疾患アウトカムのリスク因子として注目されており、空腹時血糖と、食後血糖の2点を1剤で改善することができるソリクアは、患者の症状改善、健康維持において利点の多い薬剤となると考えられる。